

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 上場取引所 東・大・福
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 谷 正明
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画部長 (氏名) 森川 康朗 (TEL) 092(723)2502
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	186,880	△3.1	39,983	57.4	24,089	△18.5
22年3月期第3四半期	192,925	△9.6	25,406	137.2	29,548	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第3四半期	27	.88	—	—
22年3月期第3四半期	34	.33	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,312,060	655,185	4.6	661.91
22年3月期	11,836,273	640,912	4.7	645.71

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 578,023百万円 22年3月期 564,268百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(第二基準)」は、確定次第別途開示致します。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
23年3月期	—	4.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注1)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注2)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	244,000	△5.1	45,000	36.1	25,000	△11.9	28.79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	859,761,868株	22年3月期	859,761,868株
23年3月期3Q	657,080株	22年3月期	614,264株
23年3月期3Q	859,131,024株	22年3月期3Q	856,672,905株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第一種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
23年3月期	—	7.00	—		
23年3月期(予想)				7.00	14.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 2
2. その他の情報	P 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書	P 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 5
4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概況	P 6
(1) 個別業績の概要(株式会社 福岡銀行)	P 6
(2) 個別業績の概要(株式会社 熊本ファミリー銀行)	P 9
(3) 個別業績の概要(株式会社 親和銀行)	P 12
5. 補足情報：平成22年度第3四半期決算説明資料	別添

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成22年度第3四半期の我が国の経済は、猛暑効果やエコカー補助金等の特殊要因剥落による個人消費の反動減や、海外経済の減速でこれまで景気回復を牽引してきた輸出の動きが鈍る等、全般的にやや厳しい状況となりました。九州経済についても、これまで全国に比べ落ち込みが小さいと見られていましたが、第3四半期には消費の低迷や円高の影響等により、景況感の悪化が目立ちました。

金融面では、円相場が11月初めに戦後最高値に迫る1ドル=80円台前半まで上昇し、日経平均株価も為替と歩調を合わせるように9,200円を割り込みましたが、その後円高の動きが落ち着くと、株価も1万円台を回復して底堅く推移しました。長期金利の指標となる10年国債の利回りは、10月初めの日銀による包括緩和策発表を受けて0.9%を割り込んだものの、米国の株高・金利上昇の流れを受け、年末には1.2%を超える場面もありました。

このような経済環境のもと、当社グループは今年度よりスタートした第三次中期経営計画「ABCプラン」の下、その基本方針である「お客様とのリレーション強化」「生産性の劇的な向上」「FFGカルチャーの浸透」「安定収益資産の積上げ」を推進してまいりました。地域金融の円滑化に積極的に取り組むとともに、インフラ整備や事務改革等をベースに営業力の強化と事務の効率化を両立し、収益力・財務体質の強化に努めております。

当第3四半期連結累計期間の主要損益につきましては、連結経常収益は、前年同期比60億4千5百万円減少し、1,868億8千万円となりました。これは、貸出金利息を中心とした資金運用収益の減少等によるものであります。連結経常費用は、前年同期比206億2千2百万円減少し、1,468億9千7百万円となりました。これは、預金を中心とした資金調達費用の減少や貸倒引当金繰入額を含むその他経常費用の減少等によるものであります。

この結果、連結経常利益は、前年同期比145億7千7百万円増加し、399億8千3百万円となりました。連結四半期純利益は、前年同期において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億2千1百万円の計上があったことから、前年同期比54億5千9百万円減少し、240億8千9百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金の期末残高は、総合取引推進による預金取引の拡大に努めました結果、前年度末比1,751億円増加し10兆6,698億円となりました。

② 貸出金

貸出金の期末残高は、法人貸出金の増加を主因に前年度末比3,933億円増加し8兆4,258億円となりました。

③ 有価証券

有価証券の期末残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、前年度末比5,454億円増加し2兆9,312億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

1. 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

2. 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率等を適用して計上しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の処理

当社及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。なお、法人税等調整額等は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

・「持分法に関する会計基準」

第1四半期連結会計期間から「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号平成20年3月10日)を適用しておりますが、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

・「資産除去債務に関する会計基準」

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、経常利益は10百万円減少、税金等調整前四半期純利益は113百万円減少しております。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(内閣府令第5号平成21年3月24日)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	344,697	732,854
コールローン及び買入手形	—	930
買入金銭債権	81,670	108,720
特定取引資産	2,290	2,290
有価証券	2,931,207	2,385,761
貸出金	8,425,892	8,032,514
外国為替	8,507	7,763
その他資産	150,005	170,983
有形固定資産	189,873	188,483
無形固定資産	168,373	177,713
繰延税金資産	92,508	100,363
支払承諾見返	59,876	71,138
貸倒引当金	△142,710	△143,112
投資損失引当金	△134	△131
資産の部合計	12,312,060	11,836,273
負債の部		
預金	10,185,098	10,091,413
譲渡性預金	484,792	403,331
コールマネー及び売渡手形	17,006	3,256
債券貸借取引受入担保金	26,576	39,044
特定取引負債	0	—
借入金	533,411	267,212
外国為替	167	876
短期社債	10,000	25,000
社債	194,500	162,000
その他負債	107,401	93,703
退職給付引当金	568	526
利息返還損失引当金	1,132	1,068
睡眠預金払戻損失引当金	3,338	4,065
その他の偶発損失引当金	867	548
再評価に係る繰延税金負債	32,136	32,176
支払承諾	59,876	71,138
負債の部合計	11,656,875	11,195,360
純資産の部		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	103,163	103,163
利益剰余金	279,991	262,979
自己株式	△222	△207
株主資本合計	507,732	490,735
その他有価証券評価差額金	32,538	32,242
繰延ヘッジ損益	△8,535	△5,054
土地再評価差額金	46,287	46,345
評価・換算差額等合計	70,291	73,532
少数株主持分	77,161	76,644
純資産の部合計	655,185	640,912
負債及び純資産の部合計	12,312,060	11,836,273

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	192,925	186,880
資金運用収益	148,090	139,882
(うち貸出金利息)	122,658	115,595
(うち有価証券利息配当金)	22,584	22,808
役務取引等収益	31,153	30,414
特定取引収益	220	130
その他業務収益	10,975	15,273
その他経常収益	2,485	1,178
経常費用	167,519	146,897
資金調達費用	24,657	18,848
(うち預金利息)	12,851	7,898
役務取引等費用	12,901	13,091
その他業務費用	901	646
営業経費	98,133	96,220
その他経常費用	30,925	18,089
経常利益	25,406	39,983
特別利益	4,170	3,339
固定資産処分益	276	95
償却債権取立益	3,894	3,243
特別損失	1,738	1,001
固定資産処分損	726	413
減損損失	436	471
その他の特別損失	574	116
税金等調整前四半期純利益	27,838	42,321
法人税等	△2,932	16,459
少数株主損益調整前四半期純利益		25,862
少数株主利益	1,222	1,772
四半期純利益	29,548	24,089

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 主要な連結子会社の業績の概況

(1) 個別業績の概要(株式会社 福岡銀行)

(百万円未満切捨て)

○平成23年3月期第3四半期の個別業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	130,644	△5.0	33,872	35.0	21,230	△34.2
22年3月期第3四半期	137,515	△7.8	25,093	54.3	32,247	317.3

2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
23年3月期第3四半期	9,051,192	448,046	4.9
22年3月期	8,595,667	439,300	5.1

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 448,046百万円 22年3月期 439,300百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

① 四半期貸借対照表

株式会社 福岡銀行
(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	214,374	595,387
コールローン	68,244	7,730
買入金銭債権	72,372	101,691
特定取引資産	2,097	2,159
有価証券	1,952,816	1,499,052
貸出金	6,472,034	6,111,128
外国為替	6,687	5,762
その他資産	112,074	104,448
有形固定資産	141,620	141,183
無形固定資産	5,616	6,010
繰延税金資産	62,721	71,434
支払承諾見返	40,759	49,934
貸倒引当金	△100,226	△100,255
資産の部合計	9,051,192	8,595,667
負債の部		
預金	7,299,327	7,229,222
譲渡性預金	402,549	336,457
コールマネー	44,703	25,635
債券貸借取引受入担保金	26,576	39,044
特定取引負債	0	—
借入金	561,610	302,695
外国為替	160	740
社債	117,500	80,000
その他負債	73,472	55,783
利息返還損失引当金	997	1,016
睡眠預金払戻損失引当金	2,595	3,112
その他の偶発損失引当金	754	548
再評価に係る繰延税金負債	32,136	32,176
支払承諾	40,759	49,934
負債の部合計	8,603,146	8,156,366
純資産の部		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,480	60,480
利益剰余金	239,846	229,065
株主資本合計	382,657	371,876
その他有価証券評価差額金	27,636	26,133
繰延ヘッジ損益	△8,535	△5,054
土地再評価差額金	46,287	46,345
評価・換算差額等合計	65,389	67,424
純資産の部合計	448,046	439,300
負債及び純資産の部合計	9,051,192	8,595,667

② 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	137,515	130,644
資金運用収益	106,443	100,884
(うち貸出金利息)	88,060	83,606
(うち有価証券利息配当金)	15,786	16,061
役務取引等収益	22,227	22,344
特定取引収益	186	119
その他業務収益	6,836	6,342
その他経常収益	1,821	954
経常費用	112,421	96,772
資金調達費用	20,196	16,435
(うち預金利息)	8,354	5,261
役務取引等費用	11,424	11,446
その他業務費用	609	532
営業経費	57,762	56,065
その他経常費用	22,428	12,293
経常利益	25,093	33,872
特別利益	3,553	2,712
固定資産処分益	1	46
償却債権取立益	3,552	2,665
特別損失	805	478
固定資産処分損	490	261
減損損失	315	167
その他の特別損失	—	49
税引前四半期純利益	27,841	36,105
法人税等	△4,406	14,875
四半期純利益	32,247	21,230

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 個別業績の概要(株式会社 熊本ファミリー銀行)

(百万円未満切捨て)

○平成23年3月期第3四半期の個別業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	21,304	△2.6	2,803	56.0	2,923	63.6
22年3月期第3四半期	21,876	△16.4	1,796	170.9	1,787	274.6

2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,215,747	57,838	4.7
22年3月期	1,157,217	54,606	4.7

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 57,838百万円 22年3月期 54,606百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

① 四半期貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行
(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	51,526	21,512
コールローン	13,520	12,794
買入金銭債権	19	24
有価証券	225,157	217,753
貸出金	870,818	849,630
外国為替	558	492
その他資産	16,340	14,680
有形固定資産	18,844	19,499
無形固定資産	4,154	5,118
繰延税金資産	17,778	17,988
支払承諾見返	8,214	8,511
貸倒引当金	△11,184	△10,791
資産の部合計	1,215,747	1,157,217
負債の部		
預金	1,101,586	1,065,560
譲渡性預金	23,267	1,126
コールマネー	—	6,800
借入金	5,600	—
外国為替	3	24
社債	10,000	10,000
その他負債	6,831	8,057
睡眠預金払戻損失引当金	399	498
その他の偶発損失引当金	29	—
再評価に係る繰延税金負債	1,976	2,031
支払承諾	8,214	8,511
負債の部合計	1,157,908	1,102,610
純資産の部		
資本金	26,347	26,347
資本剰余金	26,347	26,347
利益剰余金	3,405	400
株主資本合計	56,099	53,094
その他有価証券評価差額金	1,108	799
土地再評価差額金	631	712
評価・換算差額等合計	1,739	1,511
純資産の部合計	57,838	54,606
負債及び純資産の部合計	1,215,747	1,157,217

② 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	21,876	21,304
資金運用収益	18,284	17,057
(うち貸出金利息)	16,129	15,043
(うち有価証券利息配当金)	1,886	1,686
役務取引等収益	2,977	3,142
その他業務収益	189	1,066
その他経常収益	424	37
経常費用	20,079	18,500
資金調達費用	2,224	1,699
(うち預金利息)	1,924	1,408
役務取引等費用	1,760	1,755
その他業務費用	14	75
営業経費	13,528	12,756
その他経常費用	2,551	2,211
経常利益	1,796	2,803
特別利益	175	160
固定資産処分益	3	5
償却債権取立益	155	154
その他の特別利益	15	—
特別損失	185	81
固定資産処分損	180	20
減損損失	—	60
その他の特別損失	4	—
税引前四半期純利益	1,786	2,882
法人税等	△0	△40
四半期純利益	1,787	2,923

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 個別業績の概要(株式会社 親和銀行)

(百万円未満切捨て)

○平成23年3月期第3四半期の個別業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	31,891	△2.0	7,616	41.4	7,681	50.4
22年3月期第3四半期	32,530	△14.6	5,384	—	5,107	—

2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
23年3月期第3四半期	2,101,711	101,747	4.8
22年3月期	2,057,237	95,544	4.6

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 101,747百万円 22年3月期 95,544百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

① 四半期貸借対照表

株式会社 親和銀行
(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	81,562	118,396
コールローン	14,177	9,584
商品有価証券	193	130
有価証券	752,066	673,105
貸出金	1,175,448	1,181,707
外国為替	1,261	1,508
その他資産	16,823	12,994
有形固定資産	47,814	46,333
無形固定資産	6,136	7,177
繰延税金資産	14,281	13,227
支払承諾見返	10,589	12,547
貸倒引当金	△18,643	△19,475
資産の部合計	2,101,711	2,057,237
負債の部		
預金	1,799,183	1,815,801
譲渡性預金	78,175	84,747
コールマネー	68,244	—
借入金	17,401	15,716
外国為替	3	111
社債	7,500	12,500
その他負債	7,721	8,919
睡眠預金払戻損失引当金	342	454
その他の偶発損失引当金	83	—
再評価に係る繰延税金負債	10,718	10,893
支払承諾	10,589	12,547
負債の部合計	1,999,963	1,961,692
純資産の部		
資本金	33,128	33,128
資本剰余金	33,128	33,128
利益剰余金	14,809	6,873
株主資本合計	81,066	73,130
その他有価証券評価差額金	6,212	7,690
土地再評価差額金	14,469	14,724
評価・換算差額等合計	20,681	22,414
純資産の部合計	101,747	95,544
負債及び純資産の部合計	2,101,711	2,057,237

② 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	32,530	31,891
資金運用収益	24,489	22,831
(うち貸出金利息)	19,089	17,430
(うち有価証券利息配当金)	5,088	5,165
役務取引等収益	5,893	5,361
その他業務収益	496	3,449
その他経常収益	1,651	249
経常費用	27,145	24,275
資金調達費用	3,384	1,820
(うち預金利息)	2,587	1,237
役務取引等費用	2,377	2,573
その他業務費用	222	51
営業経費	18,013	18,111
その他経常費用	3,147	1,717
経常利益	5,384	7,616
特別利益	395	466
固定資産処分益	222	43
償却債権取立益	173	422
特別損失	801	553
固定資産処分損	63	135
減損損失	102	350
その他の特別損失	635	67
税引前四半期純利益	4,978	7,529
法人税等	△128	△151
四半期純利益	5,107	7,681

(注) 法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

平成22年度第3四半期 決算説明資料

平成23年 1月31日

【 目 次 】

	ページ
1 損益の状況	
・ FFG連結	1
・ 福岡銀行単体	2
・ 熊本ファミリー銀行単体	3
・ 親和銀行単体	4
2 資産・負債等の状況	
(1) 貸出金の状況	5
(2) 預金の状況	6
(3) 資産運用商品の状況	7
(4) 有価証券の状況	8
3 金融再生法開示債権の状況	9

平成22年12月末の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第別途開示いたします。

あなたのいちばんに。

1. 損益の状況

FFG連結

ご参考

3行単体合算

（単位：百万円）

	22年度 第3四半期 (9ヶ月)	21年度 第3四半期 (9ヶ月)	前年同期比	(参考) 21年度	平成22年度 第3四半期 (9ヶ月)	
					前年同期比	
業務粗利益	153,114	151,979	1,135	201,533	146,208	398
資金利益	121,034	123,432	△2,398	162,993	120,817	△2,595
役員取引等利益	17,323	18,252	△929	24,605	15,073	△463
特定取引利益	130	220	△90	264	119	△67
その他業務利益	14,626	10,074	4,552	13,669	10,198	3,524
うち国債等債券損益	8,110	3,208	4,902	4,126	7,980	4,817
経費（除く臨時処理分）	△93,145	94,418	△1,273	125,883	83,684	△1,596
実質業務純益	59,969	57,561	2,408	75,649	62,524	1,994
① 一般貸倒引当金繰入額	△1,108	10,761	△9,653	9,733	1,346	△8,660
業務純益	58,860	46,800	12,060	65,916	61,178	10,655
コア業務純益	51,858	54,353	△2,495	71,522	54,543	△2,824
臨時損益等	△18,877	△21,393	2,516	△32,856	△16,885	1,363
② 不良債権処理額	△12,750	12,221	529	22,730	10,817	891
(信用コスト①+②-③)	△(10,615)	(19,088)	(△8,473)	(26,777)	(8,921)	(△7,130)
株式等関係損益	△2,985	△4,753	1,768	△5,385	△2,680	1,136
その他臨時損益等	△3,141	△4,418	1,277	△4,740	△3,386	1,118
経常利益【45,000】	39,983	25,406	14,577	33,059	44,293	12,018
特別損益	2,337	2,432	△95	△2,100	2,225	△105
③ うち償却債権取立益	3,243	3,894	△651	5,685	3,242	△639
税引前四半期（当期）純利益	42,321	27,838	14,483	30,958	46,518	11,912
法人税等合計	△16,459	△2,932	19,391	△159	14,683	19,218
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△—	△16,021	16,021	△16,001	—	16,021
少数株主利益	1,772	1,222	550	2,731	—	—
四半期（当期）純利益【25,000】	24,089	29,548	△5,459	28,387	31,835	△7,307

（注1）記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

（注2）コア業務純益（51,858百万円）

= 業務純益（58,860百万円）+ 一般貸倒引当金繰入額（1,108百万円）- 国債等債券損益（8,110百万円）

（注3）【 】は、平成22年5月14日に公表した平成22年度通期の業績予想。

業績サマリー

コア業務純益 519億円（前年同期比▲25億円）

- コア業務純益は、資金利益および役員取引等利益の減少等を経費削減により一部カバーしましたが、前年同期比▲25億円減少し、519億円となりました。

経常利益 400億円（前年同期比+146億円）

計画進捗率
88.8%

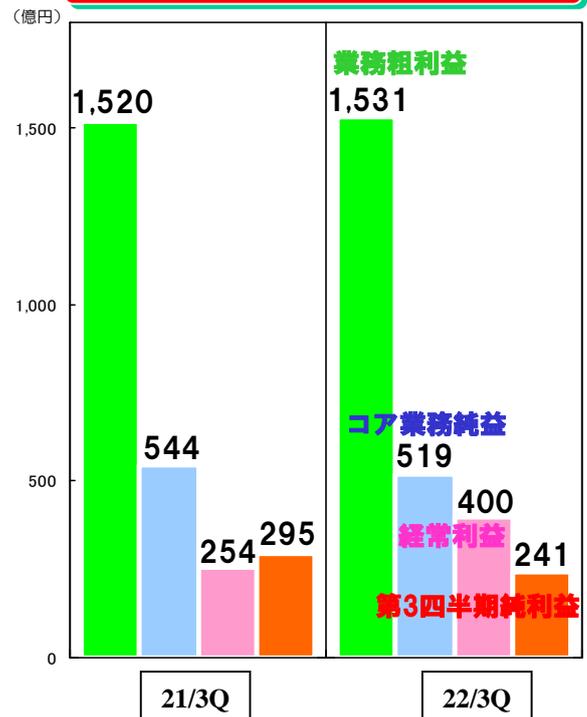
- 経常利益は、信用コスト（償却債権取立益を除く）の減少および有価証券（株式・債券）関係損益の増加等により、前年同期比+146億円増加し、400億円となりました。

四半期純利益 241億円（前年同期比▲55億円）

計画進捗率
96.3%

- 四半期純利益は、前年同期において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億円の計上があったため、前年同期比▲55億円減少し、241億円となりました。

損益の推移（FFG連結）



福岡銀行単体

（単位：百万円）

	22年度 第3四半期（9ヶ月）	21年度 第3四半期（9ヶ月）	前年同期比	（参考） 21年度
業務粗利益	101,276	103,463	△2,187	135,714
資金利益	84,449	86,247	△1,798	113,347
国内部門	81,081	81,751	△670	107,465
国際部門	3,367	4,495	△1,128	5,882
役務取引等利益	10,898	10,803	95	14,983
特定取引利益	119	186	△67	222
その他業務利益	5,809	6,226	△417	7,160
うち国債等債券損益	4,117	3,027	1,090	2,770
うち外為売買損益	1,755	1,110	645	1,585
経費（除く臨時処理分）	△53,884	△55,035	△1,151	73,061
実質業務純益	47,392	48,428	△1,036	62,652
① 一般貸倒引当金繰入額	△3,015	△10,751	△7,736	14,404
業務純益	44,376	37,676	6,700	48,248
コア業務純益 【58,300】	43,275	45,400	△2,125	59,882
臨時損益等	△10,504	△12,582	2,078	△17,786
② 不良債権処理額	△6,763	△5,723	1,040	11,099
（信用コスト①+②-③） 【10,200】	△(7,113)	△(12,923)	△(5,810)	△(20,613)
株式等関係損益	△1,818	△3,903	2,085	△3,663
その他臨時損益等	△1,922	△2,955	1,033	△3,023
経常利益 【41,400】	33,872	25,093	8,779	30,462
特別損益	2,233	2,747	△514	2,392
③ うち償却債権取立益	2,665	3,552	△887	4,890
税引前四半期（当期）純利益	36,105	27,841	8,264	32,854
法人税等合計	△14,875	△4,406	19,281	△1,106
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△-	△16,021	16,021	△16,001
四半期（当期）純利益 【24,900】	21,230	32,247	△11,017	33,960

（注1）記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

（注2）コア業務純益（43,275百万円）

= 業務純益（44,376百万円）+ 一般貸倒引当金繰入額（3,015百万円）- 国債等債券損益（4,117百万円）

（注3）【 】は、平成22年11月12日に公表した平成22年度通期の業績見直し。

業績サマリー

コア業務純益 433億円（前年同期比▲21億円） 計画進捗率 74.2%

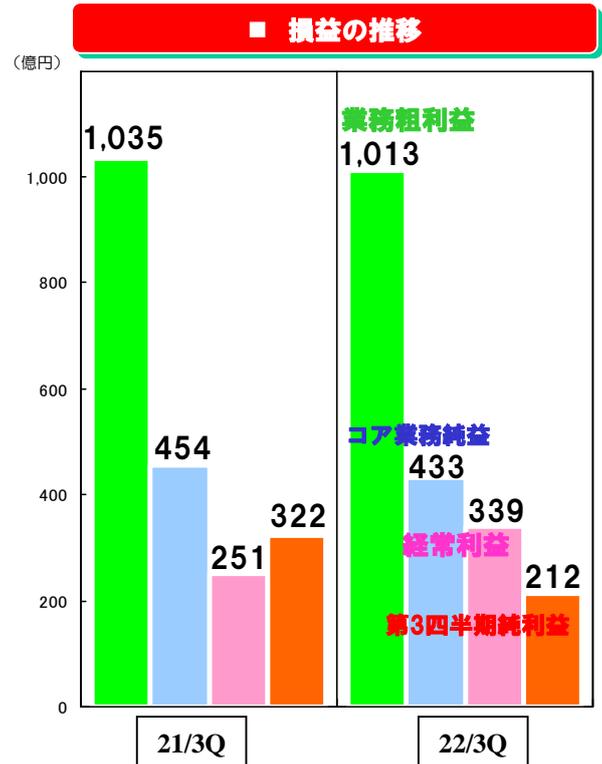
➢ コア業務純益は、資金利益およびその他業務利益（国債等債券損益を除く）が減少したこと等により前年同期比▲21億円減少し、433億円となりました。

経常利益 339億円（前年同期比+88億円） 計画進捗率 81.8%

➢ 経常利益は、信用コスト（償却債権取立益を除く）の減少および有価証券（株式・債券）関係損益の増加により前年同期比+88億円増加し、339億円となりました。

四半期純利益 212億円（前年同期比▲110億円） 計画進捗率 85.2%

➢ 四半期純利益は、前年同期において連結子会社の清算に伴う繰延税金資産160億円の計上があったため、前年同期比▲110億円減少し、212億円となりました。



熊本ファミリー銀行単体

（単位：百万円）

	22年度 第3四半期（9ヶ月）	21年度 第3四半期（9ヶ月）	前年同期比	（参考） 21年度
業務粗利益	17,735	17,452	283	24,081
資金利益	15,357	16,060	△703	21,335
国内部門	15,260	15,973	△713	21,220
国際部門	96	86	10	115
役務取引等利益	1,387	1,217	170	1,650
その他業務利益	991	174	817	1,095
うち国債等債券損益	756	△4	760	835
うち外為売買損益	176	179	△3	244
経費（除く臨時処理分）	△12,049	12,724	△675	16,892
実質業務純益	5,686	4,728	958	7,188
① 一般貸倒引当金繰入額	△960	72	△1,032	2,285
業務純益	6,647	4,655	1,992	4,903
コア業務純益【7,000】	4,930	4,732	198	6,352
臨時損益等	△3,843	△2,858	△985	△3,913
② 不良債権処理額	△2,186	1,522	664	747
（信用コスト①+②-③）【1,700】	△(1,071)	(1,439)	(△368)	(2,813)
株式等関係損益	△811	△297	△514	△1,713
その他臨時損益等	△846	△1,038	192	△1,453
経常利益【4,000】	2,803	1,796	1,007	989
特別損益	78	△10	88	△643
③ うち償却債権取立益	154	155	△1	219
税引前四半期（当期）純利益	2,882	1,786	1,096	345
法人税等合計	△40	△0	△40	△11
四半期（当期）純利益【4,000】	2,923	1,787	1,136	356

（注1）記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

（注2）コア業務純益（4,930百万円）

= 業務純益（6,647百万円）+ 一般貸倒引当金繰入額（△960百万円）- 国債等債券損益（756百万円）

（注3）【 】は、平成22年11月12日に公表した平成22年度通期の業績見通し。

■業績サマリー

コア業務純益 49億円（前年同期比+2億円）

計画進捗率
70.4%

- コア業務純益は、資金利益が減少したものの、役務取引等利益の増加、経費削減等によりカバーした結果、前年同期比+2億円増加し、49億円となりました。

経常利益 28億円（前年同期比+10億円）

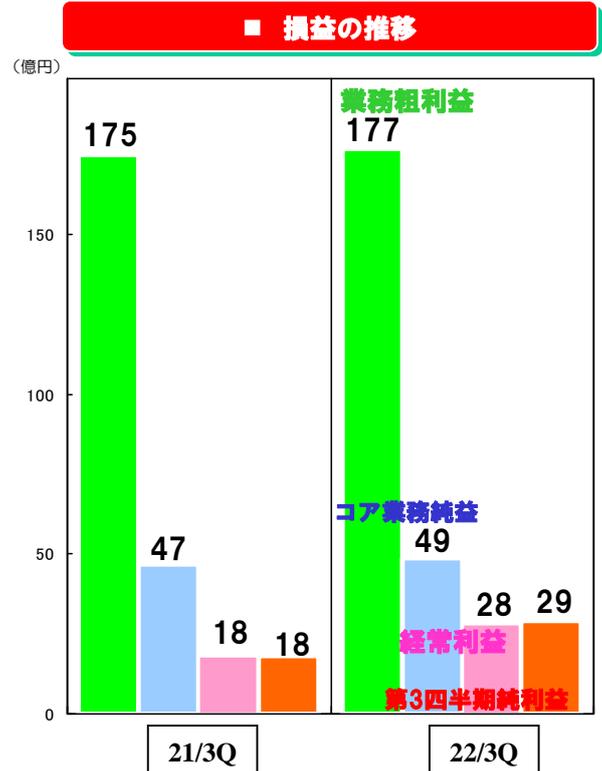
計画進捗率
70.0%

- 経常利益は、コア業務純益の増加に加え、信用コスト（償却債権取立益を除く）の減少等により前年同期比+10億円増加し、28億円となりました。

四半期純利益 29億円（前年同期比+11億円）

計画進捗率
73.0%

- 以上の結果、四半期純利益は、前年同期比+11億円増加し、29億円となりました。



親和銀行単体

（単位：百万円）

	22年度 第3四半期（9ヶ月）	21年度 第3四半期（9ヶ月）	前年同期比	（参考） 21年度 調整後
業務粗利益	27,196	24,894	2,302	33,267
資金利益	21,010	21,105	△95	28,201
国内部門	20,669	20,765	△96	27,751
国際部門	340	339	1	449
役務取引等利益	2,787	3,515	△728	4,561
その他業務利益	3,398	273	3,125	504
うち国債等債券損益	3,107	139	2,968	321
うち外為売買損益	208	154	54	199
経費（除く臨時処理分）	△ 17,751	17,520	231	23,803
実質業務純益	9,445	7,374	2,071	9,463
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 708	△ 817	109	△ 9,527
業務純益	10,153	8,191	1,962	18,991
コア業務純益 【9,100】	6,338	7,234	△ 896	9,142
臨時損益等	△ 2,537	△ 2,806	269	△ 8,501
② 不良債権処理額	△ 1,867	2,679	△ 812	7,305
（信用コスト①+②-③） 【1,200】	△ (736)	(1,689)	(△ 953)	(△ 2,484)
株式等関係損益	△ 51	384	△ 435	△ 400
その他臨時損益等	△ 618	△ 510	△ 108	△ 795
経常利益 【9,800】	7,616	5,384	2,232	10,489
特別損益	△ 87	△ 406	319	△ 4,778
③ うち償却債権取立益	422	173	249	262
税引前四半期（当期）純利益	7,529	4,978	2,551	5,710
法人税等合計	△ 151	△ 128	△ 23	△ 422
四半期（当期）純利益 【9,700】	7,681	5,107	2,574	6,133

（注1）記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

（注2）コア業務純益（6,338百万円）

= 業務純益（10,153百万円）+ 一般貸倒引当金繰入額（△708百万円）- 国債等債券損益（3,107百万円）

（注3）【 】は、平成22年11月12日に公表した平成22年度通期の業績見通し。

（注4）平成21年度は、貸倒引当金の取崩額が繰入額を上回っているため、損益計算書上は相殺後の取崩額を特別利益中の「貸倒引当金純取崩益」に計上しておりますが、通常の勘定科目とした場合の表示を調整後として記載しております。

業績サマリー

コア業務純益 63億円（前年同期比▲9億円）

計画進捗率
69.6%

➢ コア業務純益は、役務取引等利益の減少等により前年同期比▲9億円減少し、63億円となりました。

経常利益 76億円（前年同期比+22億円）

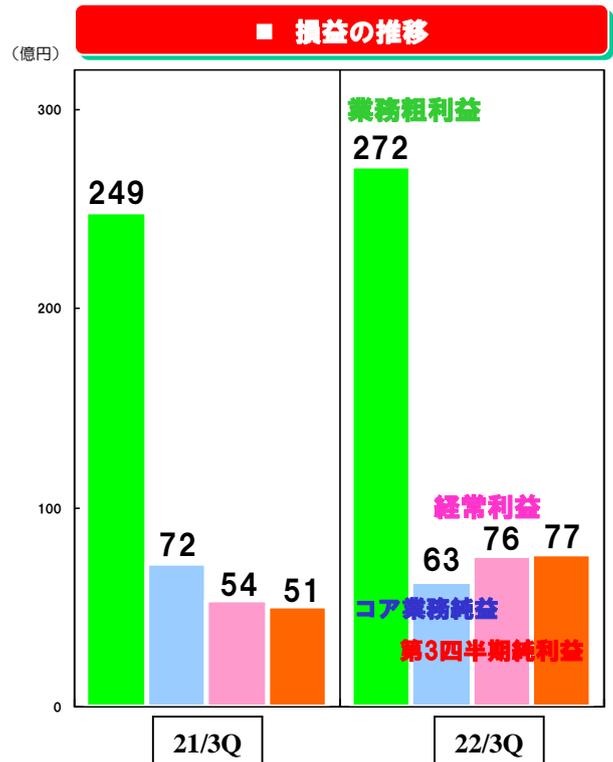
計画進捗率
77.7%

➢ 経常利益は、有価証券（株式・債券）関係損益の増加および信用コスト（償却債権取立益を除く）の減少により前年同期比+22億円増加し、76億円となりました。

四半期純利益 77億円（前年同期比+26億円）

計画進捗率
79.1%

➢ 以上の結果、四半期純利益は、前年同期比+26億円増加し、77億円となりました。



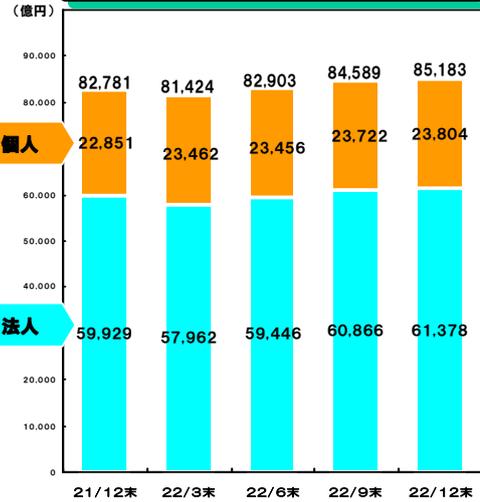
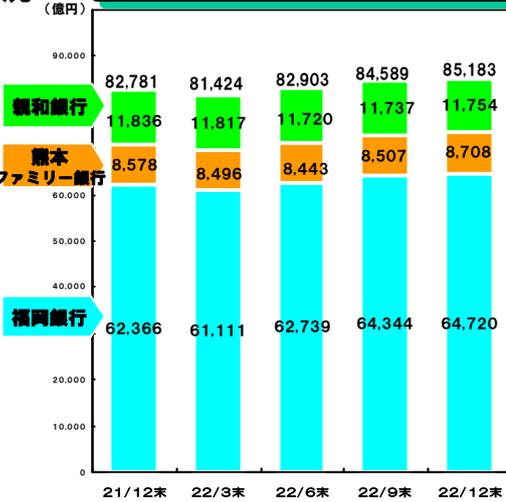
2. 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の状況

■ 貸出金末残(銀行別)

■ 貸出金末残(セグメント別)

3行単体合算



福岡銀行単体

- 貸出金は、22/9末比+375億円増加し、6兆4,720億円(前年同期比+2,353億円、年率+3.8%)となりました。
- 部門別では、個人部門が22/9末比+49億円(前年同期比+577億円、年率+3.5%)、法人部門は同+326億円(同+1,776億円、年率+3.9%)となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 貸出金は、22/9末比+200億円増加し、8,708億円(前年同期比+129億円、年率+1.5%)となりました。
- 部門別では、個人部門が22/9末比+18億円(前年同期比+71億円、年率+2.5%)、法人部門は同+182億円(同+58億円、年率+1.0%)となりました。

親和銀行単体

- 貸出金は、22/9末比+16億円増加し、1兆1,754億円(前年同期比▲82億円、年率▲0.7%)となりました。
- 部門別では、個人部門が22/9末比+13億円(前年同期比+303億円、年率+8.6%)、法人部門は同+3億円(同▲385億円、年率▲4.7%)となりました。

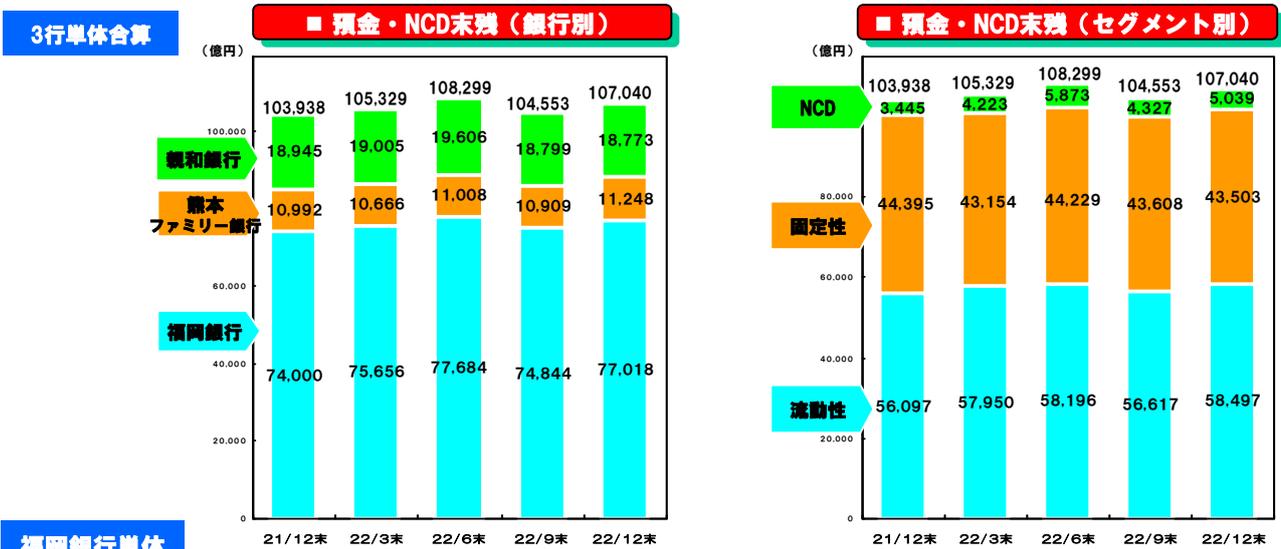
(単位:百万円)

3行単体合算	22年12月末				
	(年率:%)		22/9末比	22/3末比	21/12末比
貸出金	(2.9%)	8,518,300	59,382	375,834	240,154
個人部門	(4.2%)	2,380,457	8,159	34,224	95,258
法人部門	(2.4%)	6,137,842	51,222	341,610	144,896
ローン残高	(3.7%)	2,239,368	14,832	49,499	80,676
うち住宅ローン	(4.6%)	2,091,753	20,132	60,351	91,167
中小企業等貸出金比率	—	68.64%	0.47%	△ 2.08%	△ 1.84%
福岡銀行単体	(3.8%)	6,472,034	37,593	360,906	235,384
個人部門	(3.5%)	1,700,216	4,956	29,347	57,778
法人部門	(3.9%)	4,771,817	32,636	331,559	177,606
福岡県内貸出金	(3.7%)	5,140,453	135,796	254,087	181,801
ローン残高	(3.6%)	1,677,539	7,803	32,004	57,882
うち住宅ローン	(4.2%)	1,570,122	11,665	37,799	62,795
中小企業等貸出金比率	—	66.24%	0.60%	△ 2.51%	△ 1.50%
熊本ファミリー銀行単体	(1.5%)	870,818	20,093	21,188	12,980
個人部門	(2.5%)	295,147	1,863	4,978	7,146
法人部門	(1.0%)	575,671	18,230	16,210	5,834
熊本県内貸出金	(2.2%)	791,948	20,484	20,718	16,670
ローン残高	(3.9%)	261,266	2,838	7,117	9,857
うち住宅ローン	(5.1%)	247,374	3,447	8,836	12,089
中小企業等貸出金比率	—	87.26%	△ 0.12%	△ 1.14%	△ 1.26%
親和銀行単体	(△ 0.7%)	1,175,448	1,696	△ 6,259	△ 8,210
個人部門	(8.6%)	385,094	1,340	△ 101	30,334
法人部門	(△ 4.7%)	790,354	356	△ 6,157	△ 38,544
長崎県内貸出金	(1.9%)	814,798	862	7,104	14,939
ローン残高	(4.5%)	300,563	4,192	10,378	12,937
うち住宅ローン	(6.3%)	274,257	5,021	13,717	16,283
中小企業等貸出金比率	—	68.06%	△ 0.06%	△ 0.18%	△ 3.83%

(注) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金(21年12月末 1,040億円、22年3月末 1,040億円、22年9月末 850億円、22年12月末 850億円)を含んでおります。

(2) 預金の状況

横浜おokaフィナンシャルグループ(8354)平成22年度第3四半期決算説明資料



福岡銀行単体

- 総資金は、22/9末比+2,173億円増加し、7兆7,018億円（前年同期比+3,018億円、年率+4.1%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、22/9末比+1,300億円（前年同期比+1,419億円、年率+2.7%）、法人預金は同+265億円（同+32億円、年率+0.2%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、22/9末比+338億円増加し、1兆1,248億円（前年同期比+256億円、年率+2.3%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、22/9末比+153億円（前年同期比▲10億円、年率▲0.1%）、法人預金は同+25億円（同+130億円、年率+5.4%）となりました。

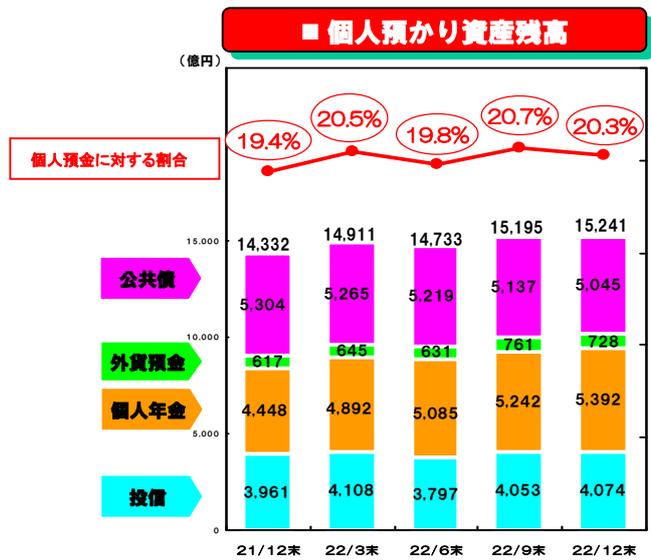
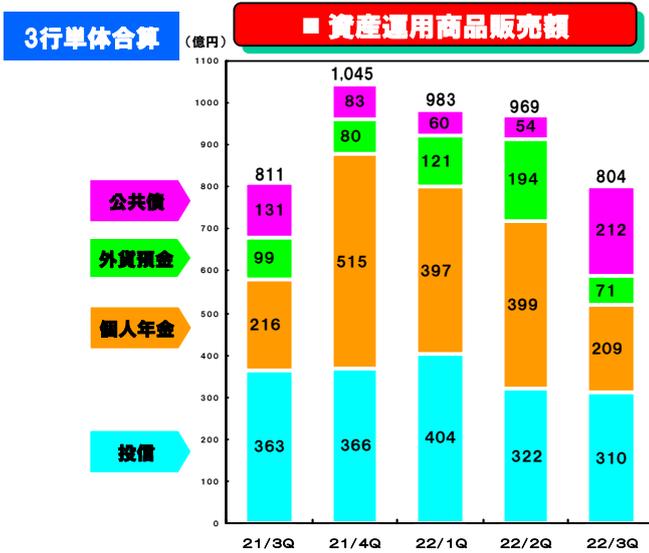
親和銀行単体

- 総資金は、22/9末比▲25億円減少し、1兆8,773億円（前年同期比▲171億円、年率▲0.9%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、22/9末比+186億円（前年同期比▲174億円、年率▲1.3%）、法人預金は同▲156億円（同+110億円、年率+2.2%）となりました。

(単位：百万円)

	22年12月末					
	(年率:%)		22/9末比	22/3末比	21/12末比	
3行単体合算	個人預金	(1.7%)	7,504,798	164,043	214,713	123,415
	法人預金	(1.0%)	2,695,297	13,447	△ 125,201	27,407
	合計	(1.5%)	10,200,096	177,489	89,513	150,822
	流動性	(4.3%)	5,849,759	188,022	54,668	239,991
	固定性	(△ 2.0%)	4,350,337	△ 10,532	34,845	△ 89,167
総資金(預金+NCD)	(3.0%)	10,704,089	248,720	171,174	310,251	
福岡銀行単体	個人預金	(2.7%)	5,377,638	130,081	207,294	141,941
	法人預金	(0.2%)	1,921,689	26,539	△ 137,189	3,268
	合計	(2.0%)	7,299,327	156,619	70,105	145,208
	流動性	(4.6%)	4,466,795	179,429	51,249	194,510
	固定性	(△ 1.7%)	2,832,532	△ 22,810	18,856	△ 49,301
総資金(預金+NCD)	(4.1%)	7,701,877	217,383	136,197	301,806	
福岡県内預金	(2.2%)	6,882,243	160,263	73,630	150,119	
熊本ファミリー銀行単体	個人預金	(△ 0.1%)	848,374	15,342	9,098	△ 1,053
	法人預金	(5.4%)	253,212	2,510	26,929	13,080
	合計	(1.1%)	1,101,586	17,852	36,026	12,027
	流動性	(4.9%)	437,024	9,713	27,726	20,251
	固定性	(△ 1.2%)	664,562	8,139	8,301	△ 8,223
総資金(預金+NCD)	(2.3%)	1,124,853	33,897	58,167	25,621	
熊本県内預金	(1.4%)	1,017,139	17,707	35,804	14,454	
親和銀行単体	個人預金	(△ 1.3%)	1,278,786	18,620	△ 1,678	△ 17,473
	法人預金	(2.2%)	520,396	△ 15,602	△ 14,940	11,059
	合計	(△ 0.4%)	1,799,183	3,018	△ 16,618	△ 6,413
	流動性	(2.7%)	945,940	△ 1,120	△ 24,306	25,230
	固定性	(△ 3.6%)	853,243	4,139	7,689	△ 31,643
総資金(預金+NCD)	(△ 0.9%)	1,877,359	△ 2,560	△ 23,189	△ 17,176	
長崎県内預金	(0.7%)	1,540,172	4,294	△ 10,415	9,973	

(3) 資産運用商品の状況



福岡銀行単体

- 資産運用商品（投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債）の販売額は、直近四半期（22/2Q）比▲16億円減少し、538億円（前年同期比+48億円、年率+9.7%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、22/9末比▲20億円減少し、1兆638億円（前年同期比+300億円、年率+2.9%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 資産運用商品販売額は、直近四半期（22/2Q）比▲57億円減少し、108億円（前年同期比▲16億円、年率▲13.3%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、22/9末比+37億円増加し、1,807億円（前年同期比+295億円、年率+19.5%）となりました。

親和銀行単体

- 資産運用商品販売額は、直近四半期（22/2Q）比▲92億円減少し、157億円（前年同期比▲38億円、年率▲19.4%）となりました。
- 個人預かり資産の残高は、22/9末比+29億円増加し、2,795億円（前年同期比+314億円、年率+12.7%）となりました。

資産運用商品販売額					
	22年度第3四半期（3ヶ月）			22年度第2四半期	21年度第3四半期
	22年度第3四半期	22年度第2四半期	21年度第3四半期		
3行単体合算					
投資信託	310	Δ 12	Δ 53	322	363
個人年金保険	209	Δ 190	Δ 7	399	216
外貨預金	71	Δ 123	Δ 28	194	99
公共債	212	158	81	54	131
合計	804	Δ 165	Δ 7	969	811
個人預金に対する割合	(Δ 0.9%)				
福岡銀行単体					
投資信託	162	Δ 21	Δ 48	183	210
個人年金保険	114	Δ 90	Δ 0	204	114
外貨預金	53	Δ 61	7	114	46
公共債	208	157	89	51	119
合計	538	Δ 16	48	554	490
個人預金に対する割合	(9.7%)				
熊本ファミリー銀行単体					
投資信託	67	7	1	60	66
個人年金保険	34	Δ 40	2	74	32
外貨預金	6	Δ 23	Δ 18	29	24
公共債	0	0	Δ 1	0	1
合計	108	Δ 57	Δ 16	165	124
個人預金に対する割合	(Δ 13.3%)				
親和銀行単体					
投資信託	80	3	Δ 6	77	86
個人年金保険	60	Δ 60	Δ 9	120	69
外貨預金	12	Δ 37	Δ 16	49	28
公共債	4	2	Δ 6	2	10
合計	157	Δ 92	Δ 38	249	195
個人預金に対する割合	(Δ 19.4%)				

個人預かり資産残高						
	22年12月末			22年9月末	22年3月末	21年12月末
	22年12月末	22/9末比	22/3末比			
3行単体合算						
投資信託	4,074	21	Δ 34	4,053	4,108	3,961
個人年金	5,392	150	500	5,242	4,892	4,448
外貨預金	728	Δ 33	83	761	645	617
公共債	5,045	Δ 92	Δ 220	5,137	5,265	5,304
合計	15,241	46	330	15,195	14,911	14,332
個人預金に対する割合	20.3%	Δ 0.4%	Δ 0.2%	20.7%	20.5%	19.4%
福岡銀行単体						
投資信託	2,761	Δ 29	Δ 132	2,790	2,893	2,803
個人年金	3,222	84	144	3,138	3,078	2,768
外貨預金	489	Δ 26	29	515	460	434
公共債	4,164	Δ 49	Δ 132	4,213	4,296	4,332
合計	10,638	Δ 20	Δ 91	10,658	10,729	10,338
個人預金に対する割合	19.8%	Δ 0.5%	Δ 1.0%	20.3%	20.8%	19.7%
熊本ファミリー銀行単体						
投資信託	530	24	66	506	464	424
個人年金	936	22	141	914	795	730
外貨預金	114	Δ 5	14	119	100	102
公共債	226	Δ 4	Δ 26	230	252	254
合計	1,807	37	194	1,770	1,613	1,512
個人預金に対する割合	21.3%	0.0%	2.1%	21.3%	19.2%	17.8%
親和銀行単体						
投資信託	782	26	32	756	750	733
個人年金	1,233	44	215	1,189	1,018	949
外貨預金	124	Δ 2	41	126	83	80
公共債	654	Δ 39	Δ 62	693	716	718
合計	2,795	29	226	2,766	2,569	2,481
個人預金に対する割合	21.9%	Δ 0.1%	1.8%	22.0%	20.1%	19.1%

(注) 投資信託販売額は法人向け含む。その他は個人向けのみ。

（4）有価証券の状況 時価のあるその他有価証券の評価差額

FFG連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/9末比+927億円増加し、2兆7,748億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、22/9末比▲255億円減少し、534億円の含み益となりました。

福岡銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/9末比+461億円増加し、1兆7,970億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、22/9末比▲180億円減少し、460億円の含み益となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/9末比+66億円増加し、2,239億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、22/9末比▲18億円減少し、18億円の含み益となりました。

親和銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、22/9末比+399億円増加し、7,543億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、22/9末比▲52億円減少し、97億円の含み益となりました。

（単位：百万円）

	22年12月末						22年9月末				
	時価	22/9末比	評価差額		うち評価益	うち評価損	時価	評価差額	うち評価益	うち評価損	
				22/9末比							
FFG連結	その他有価証券	2,774,844	92,731	53,499	△ 25,553	68,102	14,602	2,682,113	79,052	92,446	13,393
	株式	78,349	1,401	16,894	4,081	24,440	7,545	76,948	12,813	22,948	10,134
	債券	2,400,090	110,416	32,951	△ 25,089	35,963	3,011	2,289,674	58,040	58,167	127
	国債	1,425,881	126,431	16,898	△ 14,967	19,066	2,168	1,299,450	31,865	31,866	0
	地方債	38,059	876	1,021	△ 523	1,078	57	37,183	1,544	1,549	4
	社債	936,149	△ 16,892	15,032	△ 9,598	15,817	785	953,041	24,630	24,752	122
	その他	296,404	△ 19,086	3,653	△ 4,545	7,698	4,045	315,490	8,198	11,329	3,131
福岡銀行連結	その他有価証券	1,797,098	46,162	46,006	△ 18,089	55,569	9,563	1,750,936	64,095	73,722	9,626
	株式	72,164	1,045	22,935	3,720	27,125	4,190	71,119	19,215	25,705	6,490
	債券	1,446,094	63,224	19,431	△ 17,250	20,807	1,375	1,382,870	36,681	36,750	68
	国債	833,179	80,505	10,665	△ 8,941	11,284	619	752,674	19,606	19,606	-
	地方債	22,808	769	627	△ 390	674	47	22,039	1,017	1,017	-
	社債	590,106	△ 18,050	8,138	△ 7,919	8,847	708	608,156	16,057	16,126	68
	その他	278,839	△ 18,107	3,639	△ 4,559	7,636	3,997	296,946	8,198	11,266	3,067
熊本ファミリー銀行単体	その他有価証券	223,908	6,633	1,859	△ 1,860	3,231	1,371	217,275	3,719	4,931	1,212
	株式	2,100	△ 48	△ 1,029	129	18	1,047	2,148	△ 1,158	11	1,169
	債券	221,759	6,683	2,891	△ 1,989	3,212	321	215,076	4,880	4,920	40
	国債	163,672	5,873	1,698	△ 1,680	1,975	276	157,799	3,378	3,378	-
	地方債	464	81	7	△ 8	10	2	383	15	15	-
	社債	57,622	729	1,185	△ 300	1,226	41	56,893	1,485	1,525	40
	その他	48	△ 1	△ 2	-	-	2	49	△ 2	-	2
親和銀行連結	その他有価証券	754,339	39,935	9,706	△ 5,295	11,270	1,564	714,404	15,001	15,329	327
	株式	4,083	403	1,031	475	1,236	205	3,680	556	805	249
	債券	732,738	40,509	8,479	△ 5,747	9,794	1,314	692,229	14,226	14,245	18
	国債	429,028	40,053	2,382	△ 4,242	3,655	1,272	388,975	6,624	6,625	0
	地方債	14,786	26	386	△ 125	393	7	14,760	511	515	4
	社債	288,923	430	5,710	△ 1,380	5,745	34	288,493	7,090	7,103	13
	その他	17,516	△ 978	195	△ 23	240	44	18,494	218	277	59

3. 金融再生法開示債権の状況

3行単体合算

【部分直接償却後】

■金融再生法開示債権残高

(金融再生法開示債権残高及び総与信残高には自行保証付私募債を含んでおります)

(単位: 億円)

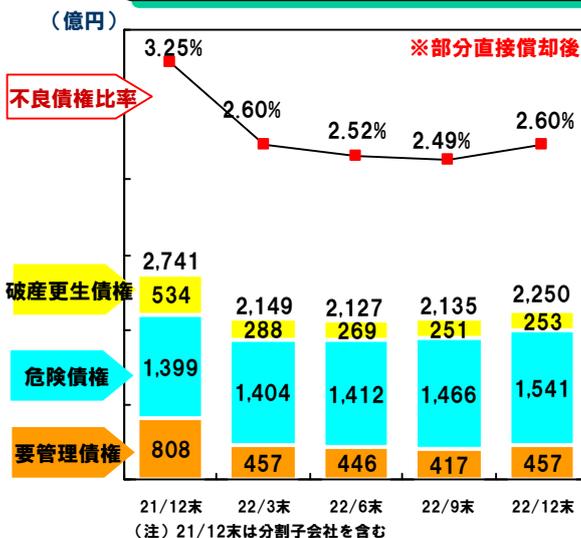
	22年12月末	22/9末比	22/3末比	21/12末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	253	1	△ 36	△ 281
危険債権	1,541	75	137	142
要管理債権	457	40	△ 0	△ 351
①合計(金融再生法開示債権)	2,250	116	101	△ 491
正常債権	84,027	496	3,556	2,667
②総与信残高	86,277	612	3,657	2,177
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	2.60%	0.11%	0.00%	△ 0.65%

■保全率【22年12月末】

(単位: 億円)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	2,250	1,746	662	1,083	77.57%

■金融再生法開示債権残高(3行単体合算)



福岡銀行単体

- 金融再生法開示債権は、22/9末比+79億円増加し、1,756億円(前年同期比▲452億円)となりました。
- 総与信に占める金融再生法開示債権額の割合(不良債権比率)は、同+0.11%増加し2.68%(同▲0.8%)となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 金融再生法開示債権は、22/9末比+18億円増加し、188億円(前年同期比+40億円)となりました。
- 不良債権比率は、同+0.15%上昇し2.12%(同+0.43%)となりました。

親和銀行単体

- 金融再生法開示債権は、22/9末比+18億円増加し、306億円(前年同期比▲79億円)となりました。
- 不良債権比率は、同+0.15%上昇し2.56%(同▲0.63%)となりました。

■金融再生法開示債権残高・比率

※部分直接償却後

